## メディアの特性を踏まえた情報収集を促進する 生徒向け参考文献管理システムの開発と評価

登本 洋子\*,\*\*, 板垣 翔大\*\*, 伊藤 史織\*, 堀田 龍也\*\*

## Development of a Bibliography Managerial System for Students Who are Forward Information Gathering Based on the Characteristics of Media

Yoko Noborimoto\*, \*\*, Shota Itagaki\*\*, Shiori Ito\*, Tatsuya Horita\*\*

This research developed and evaluated a bibliography managerial system. We encourage that this system be used for information gathering based on the characteristics of a student's media usage. First, we clarified the point of the problem from the classroom instructions for the recording and managing of a bibliography of each type of media over seven years, and examined the functional requirements. Second, we designed and developed a bibliography managerial system based on the examined functional requirements. As a result of employing the developed bibliography managerial system for about two months, it became clear that the number of times the bibliography was used by students increased. For the teacher, it became clear that the time allocated for instruction was shortened.

キーワード:メディア,情報収集,参考文献,総合的な学習の時間,探究的な学習

## 1. はじめに

知識基盤社会を生きる子どもたちには、情報を収集し、分類・整理して、活用する能力が求められている。根拠に基づいた主張を述べるにあたっても、情報を収集し活用する学習活動は重要で、今後、ますます増加していくと考えられる。また、多くの情報が氾濫しているなか、適切な情報収集を行うには、情報の信頼性や速報性などからメディアの特性を理解する必要がある。

子どもたちがメディアの特性を知るには、身の周りを取り巻くさまざまなメディアの存在に気がつくことが最初のステップとなる。山内<sup>(1)</sup> は学びに必要な情報を探し出すスキルについて、小学校の社会科や総合

的な学習の時間では情報を探すための基礎的な技法を教え、中学校・高等学校段階では情報の比較や評価などの高度な情報探索の手法を段階的に教えていく必要があると述べている。さらに山内<sup>(1)</sup> はこれらの教育を学校教育のなかで体系的に行うためには図書館情報学で蓄積されてきたノウハウを持ち込む必要があるとし、その一つの例としてメディアグラフィーカードとはインターネット、書籍、論文などのメディアごとに色別したカードに、各参考文献から得た情報とその出典情報を記録するものである。出典情報に注意を払うことは著作権の理解につながり、自分の文章と引用の文章を区別しなければならないというルールの習得にもつながる<sup>(1)</sup>.

受付日: 2016年12月7日; 再受付日: 2017年3月6日; 採録日: 2017年4月24日

<sup>\*</sup> 玉川学園高等部(Upper Secondary Division (9-12), Tamagawa Academy)

<sup>\*\*</sup>東北大学大学院情報科学研究科(Graduate School of Information Sciences, Tohoku University)